

HTML TIPS & TRICKS

第 20 回

誰よりも早く 最新のHTMLを使ってみよう

藤井幸孝 川田 哲

1997年2月号から始まったこのコーナーも、ついに20回目を迎えることになった。第1回の「文字にマーカーを付ける」以来、これまで80個のTIPSやTRICKS、40個のパズルを紹介してきたわけだ。それでもまだテクニックは尽きないし、WWWブラウザはますます進化していきだろう。今月もちょっとしたTIPSから複雑なTRICKSまで幅広くお届けしよう。

このコーナーを楽しむために

最新のHTMLを使う際に、どうしても避けて通れないのがWWWブラウザの互換性の問題だ。そこでこのコーナーでは、TIPSごとにブラウザの対応状況をアイコンで表している(8月10日現在)。これを参考に使用するWWWブラウザを選んでほしい。



インターネットエクスプローラ3.0以上



インターネットエクスプローラ4.0以上



ネットスケープナビゲーター3.0以上



ネットスケープナビゲーター4.0以上



9月号「HTMLパズルに挑戦しよう」の解答

3回連続でスタイルシートからの出題となった。あまり使われていない機能のためか挑戦者は少なかったが、送っていただいた解答は全員が正解だった。スタイルシートを知りつくしたウェブマスターたちにとっては簡単な問題だったのかもしれない。それでは解答を発表しよう。



ANSWER ① 右上に囲みを表示させる!

スタイルシートの「float」を使い、値には「right」を指定する。このスタイルを<DIV>タグに付ければ、タグで「ALIGN="RIGHT"」を指定したときのように、続く文章が回り込むようになる。値には「left」も指定できる。

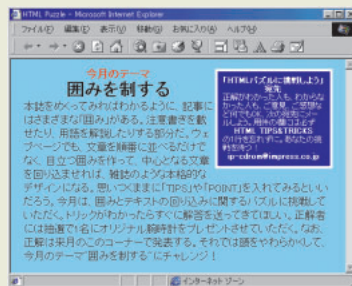
```
<style>
.box { float: right; width: 180px; height: 146px; padding: 8px;
background: navy; color: white; font-size: 9pt;
border: solid white 4px; }
</style>
:
<div class="box">
「HTMLパズルに挑戦しよう」<br> 宛先……
</div>
今月のテーマ……
```



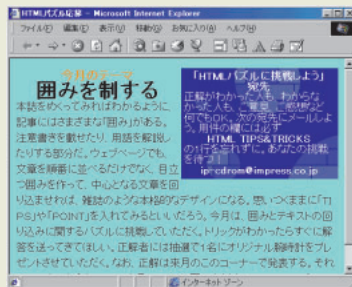
ANSWER ② 囲みに背景画像を指定しろ!

第1問と同じだが、スタイルシートで「background: url(背景画像)」を指定する。右の画面は長沢圭介さんの解答だ。

```
.box { float: right; width: 180px; height: 146px; padding: 8px;
background: url( back.gif ); color: white; font-size: 9pt; }
```

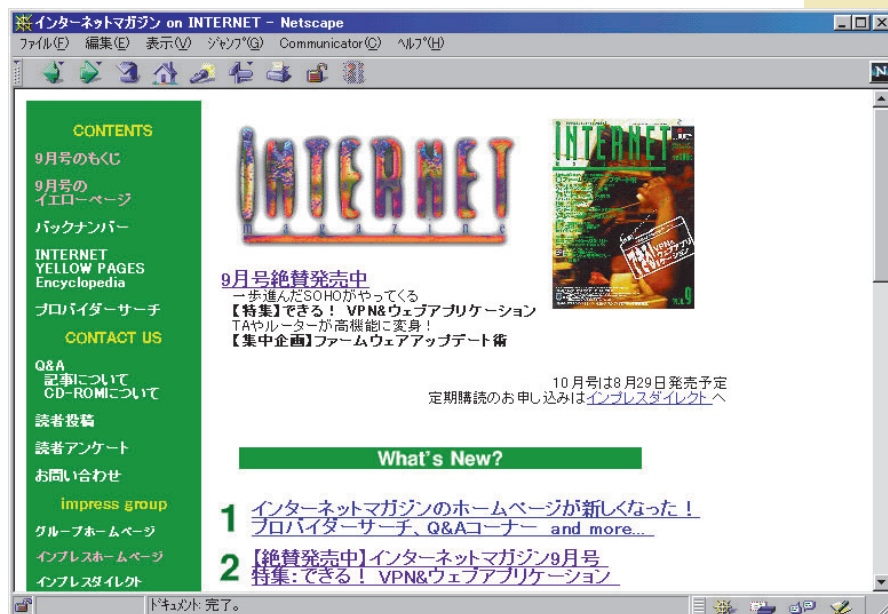


正解者：長沢圭介、大内勇、高田尚樹、古野潔美、良知敬介(敬称略)



正解者：長沢圭介、大内勇、高田尚樹、古野潔美、良知敬介(敬称略)

リンクのスタイルを部分的に変える



左の画面は先月リニューアルしたインターネットマガジンのホームページだ。左に緑色の部分があり、各種のリンクが置かれている。一見すると、よくありがちなデザインのページのようにだが、リンクの色に特徴があることに気づいてだろうか。右の部分に置かれたリンクが通常の色で下線が引かれているのに対し、左の部分のリンクは白い文字で下線がない。<BODY>タグに「LINK」や「VLINK」属性を指定したり、スタイルシートを使ったりすれば、リンクのスタイルを変えることはできるが、ページ全体のリンクが変わってしまう。特定の場所だけスタイルを変えるにはどうすればよいのだろうか。さっそく紹介しよう。



1

```
TD.left { background: green; color: white; font-size: 9pt; }
TD.left A { text-decoration: none; font-weight: bold; }
TD.left A:link { color: white; }
TD.left A:visited { color: lightpink; }
```

2

```
<TD WIDTH=175 VALIGN="top" CLASS="left">
```

Point

ここでスタイルシートの進んだ使い方をおさらいしてみよう。まず、「あるタグに囲まれたあるタグのスタイルだけ変える」という方法はもうご存じだろう。スタイルシートで次のように指定すれば<DIV> ~ </DIV>に囲まれたタグの文字を赤くすることができる。<DIV>タグに囲まれていなければタグには変化はない。

```
DIV EM { color: red; }
```

次に、スタイルシートの「クラス」について考えてみよう。次のように指定すれば、「class="left"」という属性を指定した<DIV>タグの背景が黄色くなる。

```
DIV.left { background: yellow; }
```

それでは次のように指定するとどうなるだろうか。

```
DIV.left EM { color: red; }
```

「class="left"」を指定した<DIV>タグに囲まれたタグだけが赤くなる。「left」クラスを指定しない<DIV>タグの中では赤くならない。さらに次の場合は?

```
DIV.left EM.red { color: white; }
```

「class="left"」を指定した<DIV>に囲まれ、かつ「class="red"」を指定したタグが赤くなる。ここまではわかったかな?

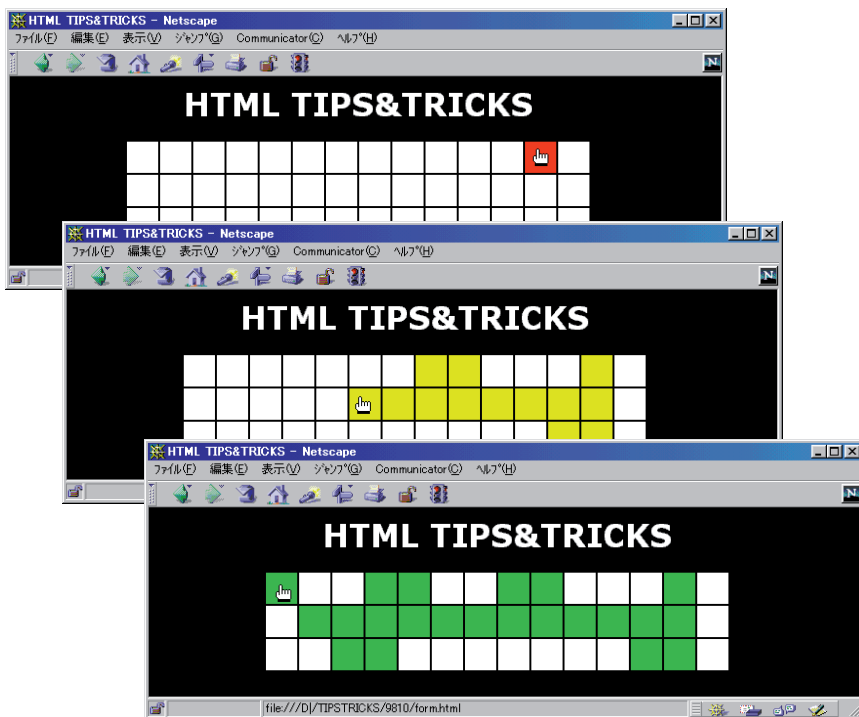
ところで、8月号で紹介したように他のタグとは違って<A>タグには「擬似クラス」というものがある。

「A:link」や、「A:visited」のような特別なクラスで、「訪れていない」「すでに訪れた」といった状態によってスタイルを指定できるものだ。ここまでくれば、もうわかっただろう。次のようにすれば、「class="left"」を指定した<DIV>タグの中では、訪れていないリンクが白に、すでに訪れたリンクがピンクになる。

```
DIV.left A:link { color: white; }
DIV.left A:visited { color: pink; }
```

インターネットマガジンのホームページでは、①のようなスタイルシートを作り、②のように<TD>タグにクラスを指定している。8月号で紹介した「A:active」(クリックしたときのスタイル)や「A:hover」(マウスを載せたときのスタイル)も使っている。ソースを見てみよう。

アニメーションGIFで効果を付ける



ショックウェアやダイナミックHTMLなどを使って、ウェブページにアニメーション効果を付けるには、お金や知識が何かと必要なもので、決して簡単ではない。しかし、ちょっとした知恵を使うことでずっと手軽にインタラクティブなアニメーション効果を作ることできる。ここではそんな例をあげてみた。簡単なスクリプトを使っているだけなので、「ダイナミックHTML」という言葉もまだなかったバージョン3時代のネットスケープナビゲーターでも動く。最新技術に頼るのではなく、アイデア勝負。まさにTIPS & TRICKS読者の得意とするテクニックだ。みんなもこれを参考に面白い技を考え出してほしい。



```
<A HREF="next.html" onMouseOver="document.s01.src='color.gif'">
<IMG NAME="s01" SRC="white.gif" BORDER=0 HSPACE=1 VSPACE=1></A>
<A HREF="next.html" onMouseOver="document.s02.src='color.gif'">
<IMG NAME="s02" SRC="white.gif" BORDER=0 HSPACE=1 VSPACE=1></A>.....
```

POINT

まずサンプル画面を見てほしい。画面の下に格子模様の部分がある。この上でマウスを動かすと、マウスの軌跡にある白いブロックに次々と色が付いていく。しかもその色はいっせいに変化していく。軌跡の残像と色のグラデーション、2つのアニメ効果が合わさって、「レトロフューチャーなコンピュータ画面」とでもいったような美しいアートを作り出している。

さて、このように一見複雑に見えるこのアニメーションだが、上のソースのように、基礎的なJavaScriptが使われているだけである。格子模様の白いタイルが「画像ファイル」white.gifだ。左上から順に、タグにname属性が「s01」、「s02」、「s03」.....と付いている。マウスが画像の上に来たときの動きは、<A>タグのonMouseOverイベントでJavaScriptを指定している。「document.

「name属性」.src='color.gif」として、タグの画像をファイル「color.gif」に変更するだけのものだ。あとは<A>タグで囲まれたタグをひたすら並べ、タイルの横の数に合わせて
タグを入れる。「color.gif」は色の付いた画像なので、マウスの軌跡に色が付いていくように見える。

面白いのは、この「color.gif」という画像ファイルだ。実はアニメーションGIFになっていて、色がグラデーションで次々と変わる画像なのだ。マウスの軌跡に沿って色が付いたタイルが次々と色を変えるのは、このアニメーションGIFの機能によるのである。スクリプトは単純に済ませて、画像の力で派手なアニメーションを実現している。アニメーションGIFはGIF Construction Set(本誌のCD-ROMにも収録)のようなシェアウェアなど安

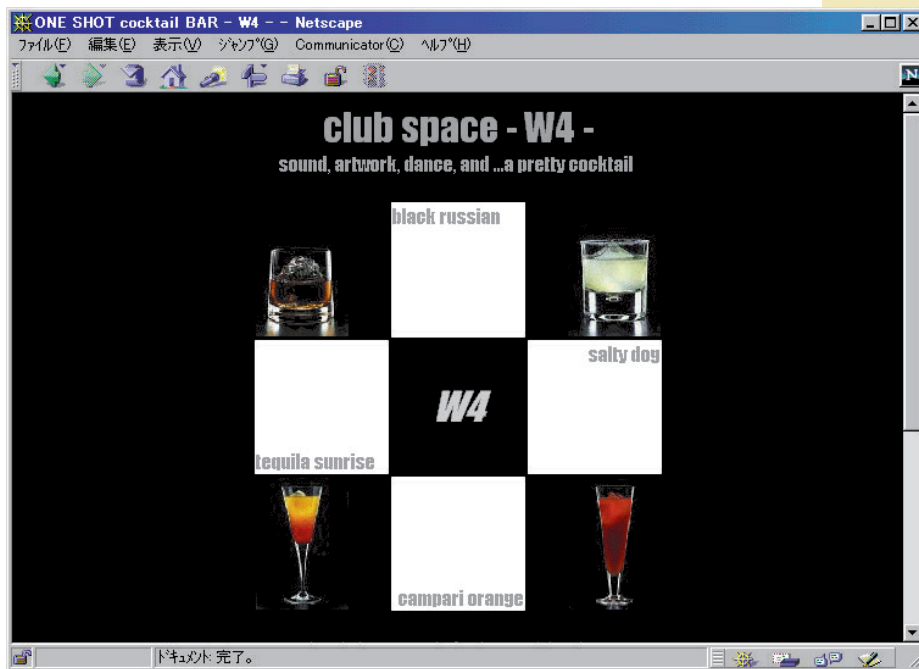
価なツールで作れるので、手間だけでなくお金もかからない。まさにアイデア勝負のウェブアートと言える。

この技を応用すれば、マウスの軌跡で花が咲いたりしぼんだりする、なんていう面白い絵が書ける。ぜひアニメーションGIFを自作して、ウェブアーティストを目指そう。

なお、このサンプルは、次のページにあるものを応用したものだ。

<http://www.chocodog.com/vdsc/>

背景に溶け込んだテーブルを作る



もう1つアイデアによるテクニックを紹介しよう。左のサンプルは、画像と文字を市松模様の上に配したものだ。まるで暗闇の中にグラスが浮かんでいるように見える。複雑な位置や色の指定をしているようだが、何ということはない。昔からよくあるテクニックで、だれでも使ったことのあるタグを利用しているだけだ。つまり、今さらながらのテーブルを使ったデザインだ。ただしここでは表の色指定をうまく使うことで、テーブルだということを知りやすくしている。スタイルシートはまだよくわからない、ブラウザで差が出るのでいやだという人は、「最新のHTML」ではないが、こんな技も使ってみてはどうだろう。



```
<TD ALIGN="left" VALIGN="top" WIDTH="108" HEIGHT="108"
  BGCOLOR="black">.....</TD>
<TD ALIGN="left" VALIGN="top" WIDTH="108" HEIGHT="108"
  BGCOLOR="white">.....</TD>
```

POINT

一見してわかる、非常に単純なHTMLだ。正方形を3×3に9つ並べたテーブルを作成し、その背景を左上から右下に、白、黒、白、黒、と指定しているだけだ。だが、これだけできれいな市松模様ができる。ここでは四隅の黒いセルに、黒地の画像を貼り付けていて、テーブルとその外側との境界がわかりにくくなっているので、テーブルであることを感じさせない。枠線を付けず、背景色を変えるだけで、クールなテーブルレイアウトに早変わりするというわけだ。

白地の部分には文字を配しているが、よく見ると、それぞれ左上、右上、右下、左下、と文字配置の場所が違う。これは<TD>の中のALIGN属性とVALIGN属性で指定している。ALIGN属性に指定できるのは「left」、「middle」、「right」で、それぞれ左、真ん中、右を表し、VALIGN属性に

指定できるのは「top」、「middle」、「bottom」で、それぞれ上、真ん中、下を表す。ALIGN属性とVALIGN属性を組み合わせれば、次のように「左右は右、上下は下」と指定できる。

```
<TD ALIGN="right"
  VALIGN="bottom" .....>
```

また、白地のセルの文字は、次のようにタグで「Impact」フォントを指定している。

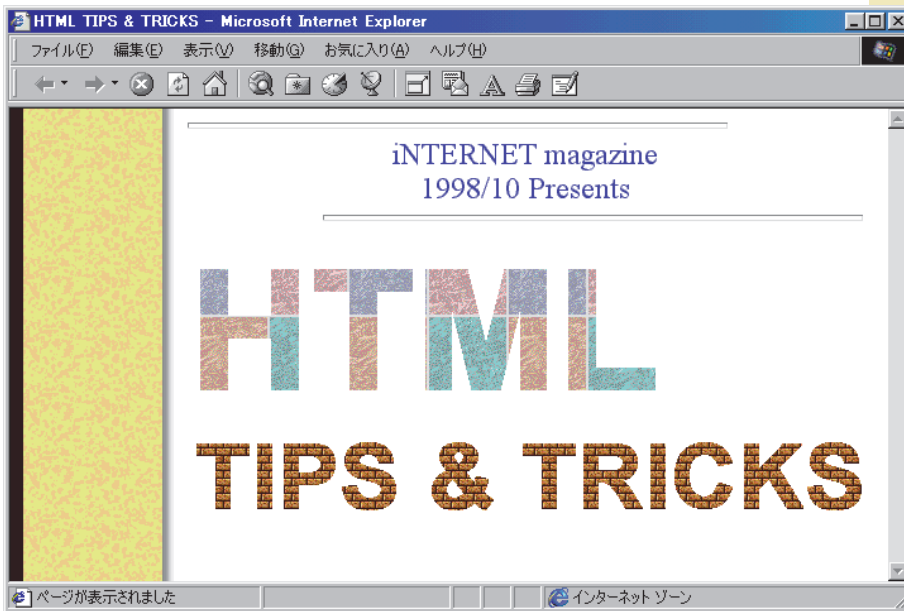
```
<FONT FACE="Impact">
  black russian</FONT>
```

HTML4.0化の流れの中で、テーブルをデザインに利用することはあまり歓迎されていないが、IEとネットスケープナビゲーターで共通に見えるレイアウト

を実現するうえでは、まだまだ実用性が高いテクニックといえるだろう。

多くの文字情報を含んだページなら、テキストしか表示できないブラウザのことも考えてレイアウトをするべきだが、この例のように、デザイン重視、イメージ重視で初めからテキストブラウザを対象としない場合は、ある程度なら許されるだろう。へたにスタイルシートで作成して、ブラウザによって見え方が違ってくよりは、ずっと実用的ではないだろうか。ページを見る人の層に合わせたテクニック選び、それがうまいTIPSというものだ。

文字に画像を載せる



左のサンプルの文字をよく見てほしい。文字の形の上に画像が載っているのがわかるだろう。こうした文字は、グラフィックソフトを使ってロゴ用の画像を作らなければできなかったのだが、ここでは文字の背景に画像を敷きつめるときのよう、背景用の画像を用意してHTML内にテキストを書いているだけなのである。いったいどのようにすればよいのだろうか。実は以前に何度か紹介してきたIE 4のビジュアルフィルターを使っているのだ。フィルターを使えば、文字を反転させたり、影を付けたりすることができるが、このような「透明化効果」を付けることもできるのだ。それではさっそく見てみよう。

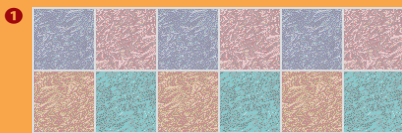


```
<DIV STYLE="position: absolute; top: 100; left: 140; width: 280; height: 100;
background-image: url( image1.gif );"></DIV> ..... ①
<DIV STYLE="position: absolute; top: 100; left: 140; width: 280; height: 100;
font-size: 72pt; font-family: Arial; font-weight: 900;
filter: Mask( Color=#FFFFFF );">HTML</DIV> ..... ②
```

TRICK

Point

一見するとよくわからないサンプルだが、背景色を白以外の色に変えてみると、その種がよくわかるだろう。文字に載せるための画像を先に配置してから、フィルター効果を指定した文字をその上に載せているのである。



まず、**<DIV>**タグで背景画像だけのオブジェクトを作る(ソース中の①)。スタイルシートで「position」を「absolute」とし、指定したとおりの位置にオブジェクトを配置できるようにする。8月号のTIPS 4でオブジェクトを動かすときにも説明した。「top」と「left」でオブジェクトを配置する座標を、「width」と「height」でオブジェクトの大きさをそれぞれ指定する。さらに「background-image」で背景画像を指定しておく。これによって画像だけの**<DIV>**タグができる。

次に、文字のオブジェクトを作る(ソース中の②)。ここで使うのはビジュアルフィルター(一種である「Mask」だ。「Mask」は、色が付いている部分を透明にするフィルターで、もともと透明だった部分には「Color」で指定した色が塗られる。これにより、**<DIV>**タグで囲まれた「HTML」という文字には白い背景色が塗られ、文字の色だった部分は透

明になる。このオブジェクトを①で作った画像の上に乗せれば、画像が文字の形に切り抜かれたように表示される。

なお、ここで注意するのは、画像用のオブジェクトと文字用のオブジェクトをまったく同じ位置、同じ大きさにしておくことである。そうしないと、画像がはみ出たり、文字に画像が載らなかったりといったことが起きる。

位置や大きさの調整を何度もテストする必要があるが、マスクの色を「#000000」などとしてページの背景色と違う色を指定すれば、位置がわかりやすくなり、調整しやすくなるだろう。調整が終わったら、背景色を同じ色に戻せば画像を載せた文字が表示されているように見える。画像や文字を変えたりして、いろいろ試してみると面白い。なるべく文字を太くしたほうがはっきりした効果を得られるだろう。

HTMLパズルに挑戦しよう

隠されたトリックを解き明かせ！



今月のテーマ

マウスイventを制する

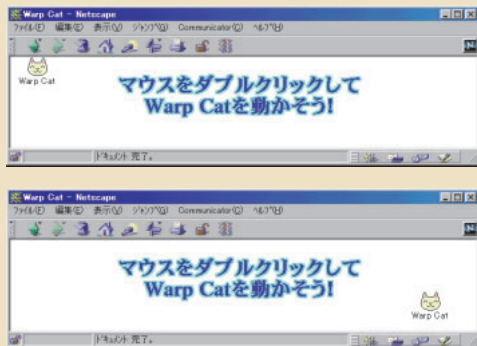
マウスイventといってもいろいろあるが、その中でもよく使われるのが「クリック」だろう。HTML4.0でもonClickなどのマウスイventがタグの属性で指定できるようになってきたが、属性を付ける方法ではタグ単位でしか指定できない。ウィンドウ全体でマウスクリックを処理する場合はどうすればよいだろうか？そこで今回は、マウスイventに関するパズルに挑戦していただく。トリックがわかったらすぐに解答を送ってきてほしい。正解者には抽選で1名にオリジナル折りたたみ傘をプレゼントさせていただく。なお、正解は来月のこのコーナーで発表する。それでは頭をやわらかくして、今月のテーマ“マウスイventを制する”にチャレンジ！

「HTMLパズルに挑戦しよう」宛先

正解がわかった人も、わからなかった人も、ご意見、ご感想など何でもOK、次の宛先にメールしよう。用件の欄には必ずHTML TIPS & TRICKSの1行を忘れずに。あなたの挑戦を待つ！

✉ ip-cdrom@impress.co.jp

QUESTION 1 ダブルクリックでレイヤーを動かせ！

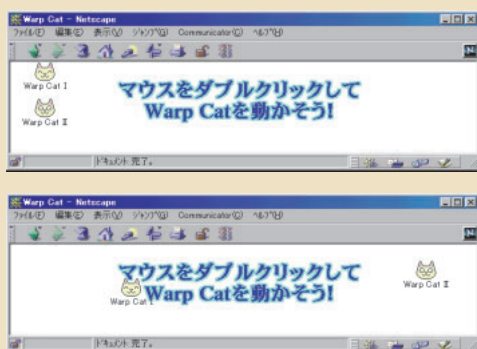


まず1問目。左のサンプルは、最初に左上にレイヤーで猫の絵が表示されている。ブラウザのウィンドウ内をダブルクリックすると、ダブルクリックした場所に猫が移動する。しかも、特定の位置をダブルクリックすると移動するのではない。ウィンドウ内のどこをダブルクリックしても同じことが起こるのだ。さて、いったいどのようにしているのだろうか？もちろんスタイルシートやレイヤーで表示、非表示の属性を付けたタグを並べて切り替えているのではない。また、左クリックを2回カウントしてダブルクリックとして認識するということもしないこと。数行のスク립トを書くだけでよい。さあ、やってみよう。



ナビゲーターでイベントからマウスの位置を得るには.....

QUESTION 2 ダブルクリックの位置を調べろ！



2問目も同じレイヤーを動かすイベントだ。今度は左上に2つのレイヤーで2匹の猫が用意されている。ブラウザのウィンドウの左半分でダブルクリックすると上の猫が、ウィンドウの右半分でダブルクリックすると下の猫がそれぞれマウスの位置に移動する。1問目と同じくウィンドウ内のどこをダブルクリックしても同じことが起こるようにしたい。また、ウィンドウの大きさをどのように変えても左半分と右半分それぞれの猫が移動するようにしたい。さて、いったいどうすればよいだろうか？第1問、第2問ともに、画像には何を使ってまかまわないので、好きな絵をメールに添付して送ってほしい。



ナビゲーターでウィンドウの大きさを表すプロパティーは.....



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp